

大学IRコンソーシアムアンケート 集計結果

大学IRコンソーシアムアンケートとは、鹿児島大学が他国公立・私立大学と一緒に毎年実施している学生調査です。本調査を通して、学生の皆さんの学習習慣や大学への満足度、入学後の能力の伸び等を把握しています。本調査の結果をもとに、近年の鹿児島大学の学生の特徴を一部紹介します。



① 第1志望としての入学者比率

徐々に増えてきているようですね。とても嬉しいです。その希望に沿った学生生活を皆さんが送れるよう、より質の高い教育・学生支援に取り組みます。



コロナ禍前より
増えているよ！



図1 「本学を第1志望として入学した」と回答した1年生の割合(%)

② 授業課題や予習・復習に取り組む時間

コロナ禍前と比べると、増えてきています。単位制度上、必要とされる授業時間外の学修時間を使って学習に取り組むことで、十分な学習成果をあげることができるはず。これからも能動的に学んでいきましょう。

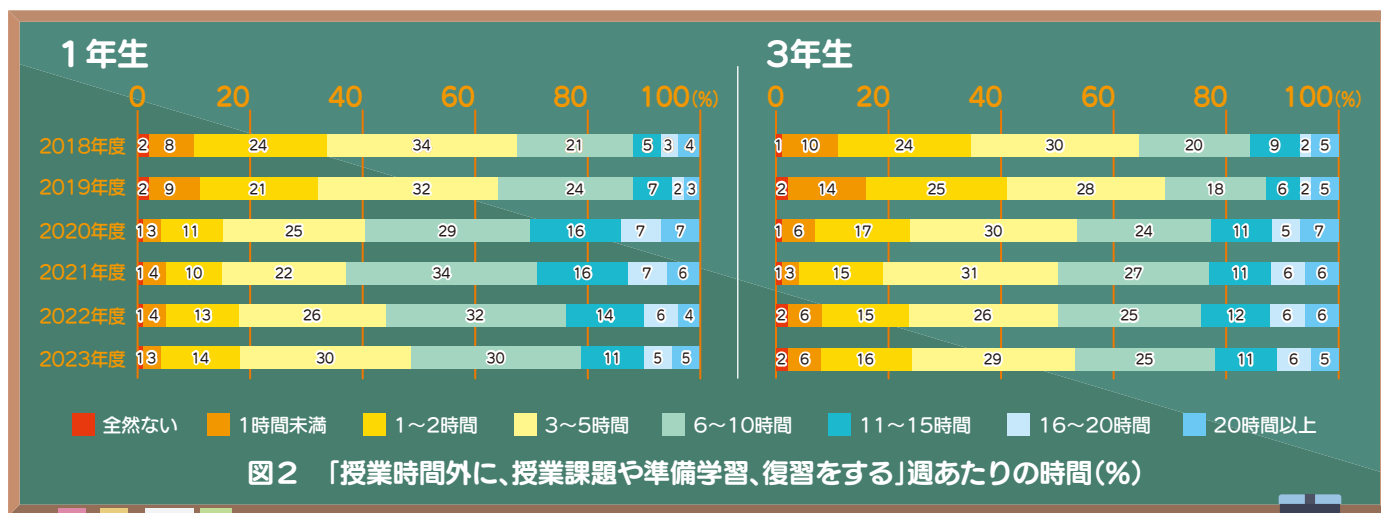
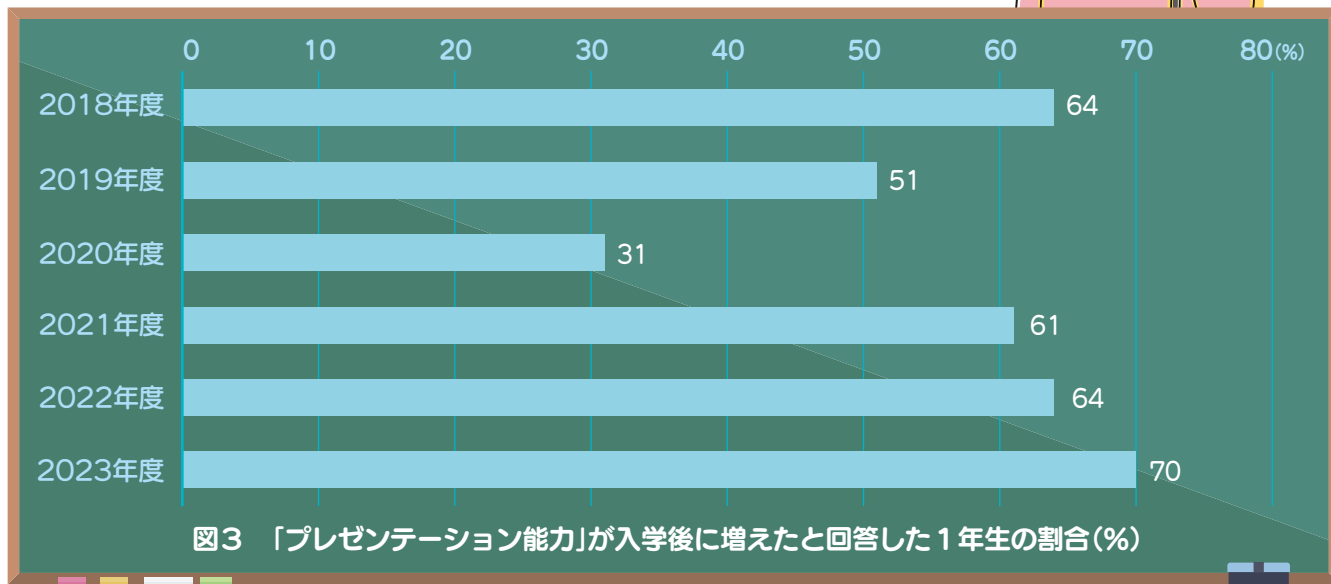


図2 「授業時間外に、授業課題や準備学習、復習をする」週あたりの時間(%)

※アンケート結果の詳細は、鹿児島大学ホームページ(<https://www.kagoshima-u.ac.jp/internalinfo/>)にて確認することができます(学内限定公開)

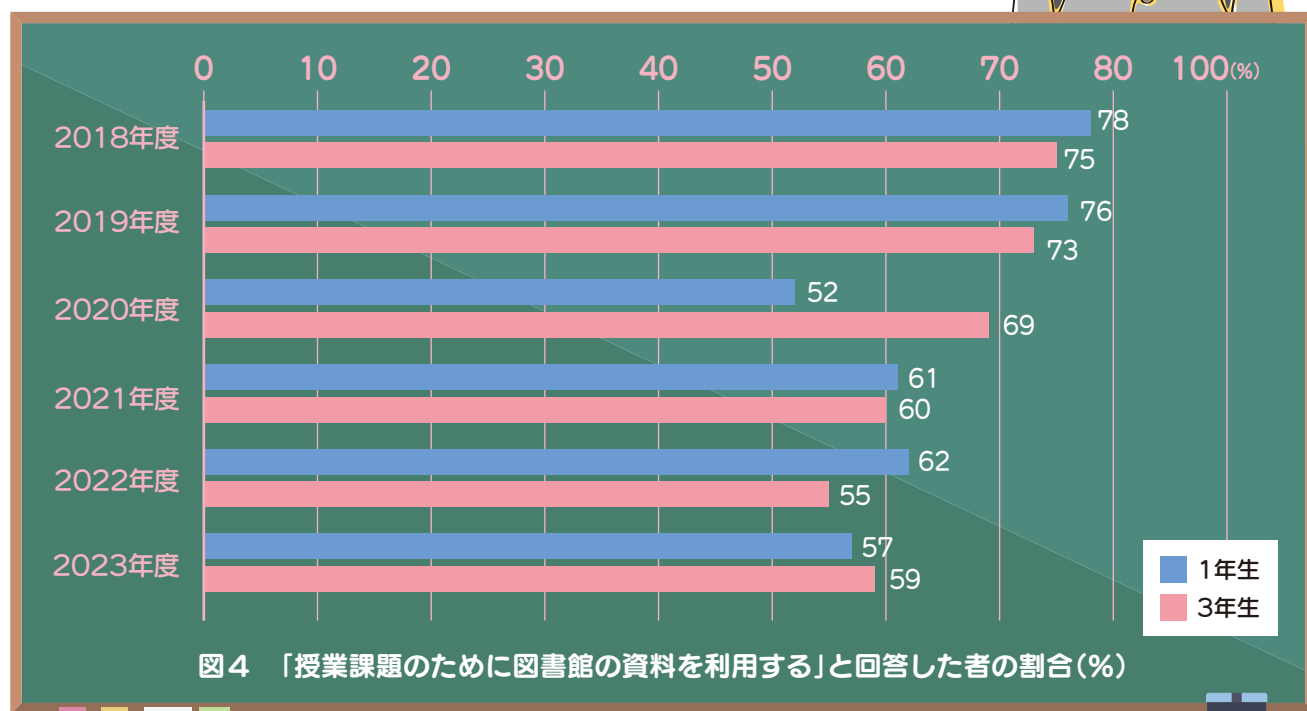
③ プレゼンテーション能力の伸長

プレゼンテーション能力が伸びたと感じている学生の割合が増えています。2020年度はコロナ禍の影響によってほとんどの授業が遠隔で行われていたため一時的に比率が低下してしまいましたが、その後は回復しています。対面での実践が重要だということを示す結果ともいえますね。



④ 図書館利用率

授業課題のために図書館の資料を利用する学生の割合が減っています。今はwebで読める資料もかなり多くなっているので、一概に良くない傾向とはいえません。ただ、書籍を読みながらじっくり考える学びの経験も大切です。また、図書館の機能は資料検索や借出だけではありません。ラーニングcommonsなど、グループ活動がしやすい環境もあるので、自分の学び方に合わせて積極的に活用していきましょう。



※アンケート結果の詳細は、鹿児島大学ホームページ(<https://www.kagoshima-u.ac.jp/internalinfo/>)にて確認することができます(学内限定公開)